



①



②



③



④

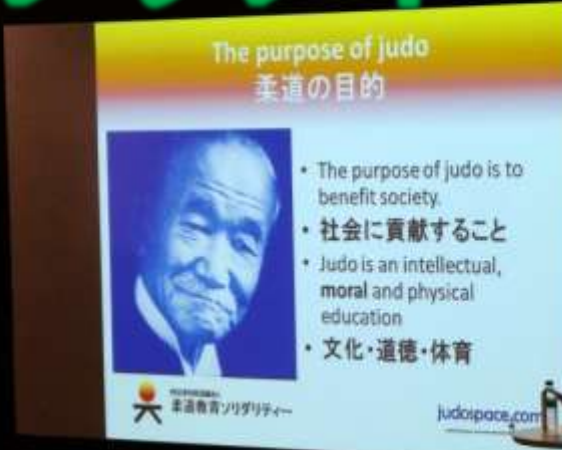


⑤



⑥

認定特定非営利活動 (NPO) 法人 柔道教育ソリダリティー



The purpose of judo
柔道の目的

- The purpose of judo is to benefit society.
- 社会に貢献すること
- Judo is an intellectual, moral and physical education
- 文化・道徳・体育

柔道教育ソリダリティー judoispce.com

Newsletter vol. 15

Certified NPO – Solidarity of International Judo Education

①「暴力の根絶」プロジェクトパネルディスカッション(東京都・港区) ②チグル氏・アルゾアン氏研修修了式(神奈川県・東海大学) ③国際審判員試験(タイ・バンコク) ④リサイクル置搬出(神奈川県・東海大学) ⑤日中友好青島柔道館の子どもたち(宮城県・登米市) ⑥第14回講演会(東京・千代田区)

国際的な柔道の普及—「自他共栄」を実現するために

— To promote the international popularization of judo and realization of *jitakyoei* (mutual prosperity for oneself and others).

現在、国際柔道連盟(IJF)には、200の国と地域が加盟しています。柔道は、一流競技者から一般市民に至るまで愛好され、各国の文化的特性と融合しながら創始者嘉納治五郎師範が掲げた「自他共栄」の実現を目指しています。

柔道を通して日本の心を伝え、様々な国との文化交流に役立てたい

— We communicate the Japanese spirit.

昨今の国際情勢を見ると、紛争やテロ、地球環境の劣化、南北格差の拡大、人口増加など問題が山積みされています。そのような状況の中、一部の発展途上国では柔道の指導者、道衣、畳、教材などが不足し、柔道を学びたくても学べない現状があります。柔道の国際的普及、振興に努めていきます。

今、大切なことは、子どもたちをいかにして育てていくか

— Educate youth through judo.

柔道を通して世界中の人々が心を通い合わせ、お互いの文化を理解することが「自他共栄」を実現することの近道と考えております。これからの社会を担っていく青少年を、柔道を通して育成することが大切であると考えております。



認定特定非営利活動法人
柔道教育ソリダリティー

認定特定非営利活動法人

柔道教育ソリダリティー会報第15号

2014年3月1日発行 Published 1st of March 2014

発行人: 山下泰裕

発行所: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

東海大学 体育学部 柔道研究室

Address : 4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka-shi, Kanagawa

Japan, 259-1292

T E L : 0463-58-1211 (内線3524)

F A X : 0463-50-2230

Email : judo3524@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp

Vol. **15**

<http://npo-jks.jp>

柔道 友情 平和

検索

※柔道教育ソリダリティーは、2014年1月27日より神奈川県庁から継続認定を受けました。本法人へのご寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。

柔道少年少女の健全な育成に向け

「暴力の根絶」プロジェクト、パネルディスカッション
第14回講演会より抜粋



2006年4月、柔道の核心は教育にあるという基本理念を踏まえて「柔道教育ソリダリティー」を立ち上げました。柔道を通じた国際交流、青少年の健全育成を目的に、「柔のこころ」「和のこころ」「日本のこころ」を世界に伝えて行きたいと考えてきました。

しかしながら、現在の日本の柔道界では様々な問題が発覚しております。こうした中で「私に何ができるのか」を考え、2013年4月に全日本柔道連盟「暴力の根絶」プロジェクトを立ち上げました。賛同していただける方々と一緒に手を携え、この問題の根元を断ち切ることを目的としました。全日本柔道連盟に全面的に協力していただき、暴力禁止や処分を明文化することで短期あるいは中長期的に暴力の根絶に対応しようと考えています。

私自身は柔道を通じて人間教育を図るという貫いた考え方に立つものですが、現在の柔道界では簡単に理解されない場合があると感じております。問題解決には、我々が閉鎖された集団ではなく、開かれた集団に変わることが重要だと考えました。そこで、このプロジェクトには私の敬服している方々を外部有識者として迎えました。

そして、2013年8月に全日本柔道連盟の副会長に就任いたしました。暴力の他に、我々が考えなければいけない問題の一つに、柔道における死亡事故、高度障害が残る事故の多さがあります。原因は色々あるかと思いますが。しかしながら、我々全日本柔道連盟が、この問題に対し、もっと真剣に取り組んでいけば、多くの事故は未然に防げたかもしれない。そういう思いがあります。今後、このような事故が起きないように最大限の努力を払っていかねばならないし、今もそう思っています。私は選手のころから、「柔道は、身を守り安全だ。柔道の受け身というのは、身体を守ってくれるものだ」こう信じてきました。しかし、柔道は危険で危ないスポーツとみられるようになったという現状があります。

これらの問題は、解決することは難しいかもしれませんが、時間をかけ、粘り強く意識を変えて行くことが大事だと思います。そして、柔道の練習に励んでいる全ての子どもたちが、堂々と胸を張って「柔道をやっています！」と言えるように、我々は柔道の理念は何であるのか、それを示していく必要があると考えます。

認定特定非営利活動(NPO)法人柔道教育ソリダリティー 理事長 山下泰裕

主な活動 (2013年7月～2014年1月)

- Major Activities -

年 月 日	事 業 内 容
2013年7月4日～9日	日中友好青島柔道館の小学生チームが来日(宮城県・登米市等)
2013年7月7日	第35回山下旗柔道大会を支援(宮城県・登米市)
2013年7月16日	「暴力の根絶」プロジェクト、パネルディスカッションを開催(東京・港区)
2013年7月22日～8月6日	東海大学望星学塾の国際親善週間で来日したハワイチームを支援(東海大学等)
2013年7月23日～28日	ゲンデン氏をJUA国際審判員試験講習会に派遣(タイ・バンコク)
2013年9月4日～20日	インターンシップ生としてびわこ成蹊スポーツ大学の中村かおりさんを受入れ(東海大学)
2013年11月18日～12月20日	ラトビアより男子柔道指導者アントン・チグル氏を受入れ(東海大学等)
2013年11月19日～12月18日	イスラエルより男子柔道指導者アルゾアン・シャイ氏を受入れ(東海大学等)
2013年12月	リサイクル柔道衣100着がエルサルバドルへ到着(エルサルバドル・サンサルバドル)
2013年12月1日	Rasty Kanokogi Memorial 第33回塾友杯少年柔道大会を支援(東京・望星学塾)
2013年12月6日	第14回講演会「柔道とけが」を開催(東京・千代田区)
2013年12月8日	第5回中郡柔道研修大会を支援(神奈川県・大磯町)
2013年12月18日	留学生柔道体験教室を開催(東海大学)
2014年1月	リサイクル柔道衣200着及びリサイクル畳91枚がタンザニアに到着(タンザニア・ザンジバル)
2014年1月	リサイクル柔道衣50着がボツワナに到着(ボツワナ・ハボローネ)

山下旗柔道大会に参加した日中友好青島柔道館チームと宮城豊里柔道クラブの皆さん

Participants of the Yamashita Flag Judo Tournament from the Japan-China Judo Friendship Center in Qingdao, China, and from the Miyagi Toyosato Judo Club.



日本の心、柔道を世界へ伝えるために

柔道用品(柔道衣・畳)の支援

2013年度は、8カ国に柔道衣750着、畳169枚を送りました。



2011年4月、駐日エルサルバドル共和国大使館・総領事館へ送付したリサイクル柔道衣100着が2013年12月にエルサルバドルへ到着しました。

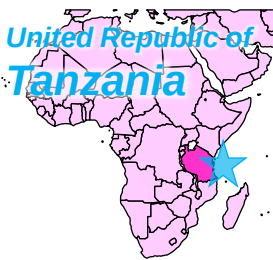
In December 2013, 100 recycled judogis that we donated in April 2011 through the Embassy and Consulate of the Republic of El Salvador in Japan arrived in El Salvador.

エルサルバドル大使館マルタ・セラヤンディア・シスネロス特命全権大使からの礼状です

NPO法人柔道教育ソリダリティーの支援者の皆さま、この度は、リサイクル柔道衣100着の寄付をしていただき、心よりお礼申し上げます。柔道衣は、ピースポート及びJICAの協力の下、エルサルバドルに2013年に到着いたしました。リサイクル柔道衣は、低所得層の子どもたちに柔道を教えている3つの道場に届けられました。この柔道衣がエルサルバドルで柔道を学ぶ子どもたちの希望の光になることと思います。本当にありがとうございます。



リサイクル柔道衣を着たエルサルバドルの子どもたち



2013年8・9月に、タンザニア・ザンジバル島へ送付したリサイクル柔道衣200着、桜美林大学より寄付していただいた畳91枚が2014年1月に到着しました。

In January 2014, 200 judogis that we sent in August and September 2013 and 91 tatami mats donated by J. F. Obirin University arrived in the Zanzibar Island, Tanzania.

ザンジバル柔道連盟 島岡由美子さんからの礼状です

昨年ご協力いただいたリサイクル畳91枚と、リサイクル柔道衣200着がザンジバルに届きました。ザンジバル柔道連盟の方で購入した新しい緑&黄色の畳や、他方面からご寄贈いただいた新畳も含め、輸送したコンテナがザンジバル港に到着し、ザンジバル武道館に運び込まれました。そこにザンジバルスポーツ委員会書記長も駆けつけてくれ、柔道教育ソリダリティー様、ご協力下さった日本の皆さんへの感謝の言葉とザンジバル柔道の発展を喜んで下さいました。ザンジバル武道館の方には、新品の緑と黄色の畳を敷き詰めましたので、いただいた91枚のリサイクル畳と今まで使用していた畳をペンバ島へ輸送し、ペンバ武道館で使わせていただく予定です。

ペンバ武道館は、完成が少し遅れており、1月4日に、落成式の代わりに定礎式を行いました。ザンジバル副大統領が定礎式の祝辞を下され、ペンバ島に柔道が広がることを喜んで下さいました。定礎版には、柔道教育ソリダリティー様の名称も彫り込んであります。

現在、ペンバ武道館は、屋根が付きました。後は、床、ステージ、塗装、ドアと窓の取り付けが残っていますが、ほぼ完成です。来月、ペンバ武道館完成のご報告が出来るようがんばっております。



リサイクル柔道衣・畳が使われる予定のペンバ武道館の前で



2013年10月に、ボツワナ・ハボローネ市へ送付したリサイクル柔道衣50着が2014年1月に到着しました。JICA青年海外協力隊として活動を行っている井坪圭佑氏を通し、ボツワナ柔道連盟に贈呈されました。

In January 2014, 50 recycled judogis that we sent in October 2013 arrived in Gaborone, Botswana.

JICA青年海外協力隊 井坪圭佑氏からの礼状です

平成26年1月、50着のリサイクル柔道衣がボツワナに到着いたしました。我々ボツワナ柔道連盟に対する多大なるご支援、ご協力にボツワナ柔道界一同感謝の気持ちでいっぱいです。

私がボツワナ柔道連盟に配属されて、半年が経ちました。現在は、ナショナルチームのヘッドコーチとして選手の強化に励む傍ら、クラブ活動として柔道が取り入れられている地域の小学校を巡回指導しております。小さい国の柔道界ではありますが、底辺と頂点に携わる事の出来る今の環境は、大変恵まれていると実感しております。

アフリカの中では、比較的恵まれていると言われるボツワナですが、国内での貧富の差が激しく、柔道衣を買えない子も少なくありません。様々な問題を抱えるボツワナ柔道界ですが、選手の笑顔と真摯な瞳に支えられて、勉強する事の方が多く毎日です。日本の常識は、通用しないことが多いのですが、異文化理解を深める努力をしたいと思っています。



リサイクル柔道衣を着て熱心に練習を行う選手

外国からの指導者・選手受入支援事業

2013年11月20日～12月20日の期間、イスラエルの柔道指導者アルゾアン・シャイ氏、ラトビアの柔道指導者アントン・チグル氏が東海大学を中心に、少年柔道の指導方法等を学びました。

We accepted foreign judo instructors, Mr. Chai Arzoin from Israel and Mr. Anton Cigur from Latvia. They learned the children's coaching method, mainly based at Tokai University from November 20 to December 20, 2013.

2011年より行っているイスラエル及びパレスチナからの指導者受入事業ですが、来日予定であったパレスチナの指導者が怪我のために来日することが出来なくなりました。そこで、2013年度の指導者・選手受入支援事業は、イスラエルとラトビアより柔道指導者を各1名招へいました。

今回の研修は、東海大学体育学部光本健次教授に全面的にコーディネートしていただき、東海大学では、柔道の指導方法だけでなく、スポーツ心理学を高妻容一教授、テーピング法等を花岡美智子先生（講師）、リハビリ方法を今村貴幸先生（講師）、スポーツマッサージ法を石田智子先生（講師）に教えていただきました。他に、日本の少年柔道を視察するために、朝飛道場（横浜市）、濱名道場（大磯町）、練馬区立貫井中学校（練馬区）望星学塾（武蔵野市）、圓心道場（京都市）、東海大学海洋科学博物館（静岡市）、東京都立青島特別支援学校（世田谷区）で研修をさせていただきました。受入に協力して下さった東海大学柔道部の先生方、朝飛道場朝飛大館長、濱名道場濱名濱名三代子館長、練馬区立貫井中学校高橋健司先生、圓心道場山崎立実先生、東海大学海洋科学博物館山田一幸先生及び稽古に参加して下さいました全ての皆さまに感謝申し上げます。



研修のコーディネートをして下さった光本教授と修了証書を手に



研修をさせていただいた濱名道場で館長の濱名先生と



講道館柔道発祥の地、東京都台東区の永昌寺を見学



東海大学では、柔道だけでなくテーピング、リハビリ、心理学などの研修も行った

アントン・チグル Mr. Anton Cigur

Latvia



皆さんこんにちは！私は、来日するまで、日本の事や東海大学のことをあまり知りませんでした。しかし、私を待っていたものは、素晴らしい経験でした。初めに、日本について数時間しかたっていないのに、私が驚いたのは、日本人の皆さんの心の温かさでした。

プログラムが始まってからは、私は研修に集中しました。私は、最高の先生方とプログラムに感動しました。研修を受けて行く中で、初めはとても辛かったトレーニングが、興味深く挑戦したいものに変化していきました。

世界でも有名な東海大学の柔道の先生方が、忙しい中にもかかわらず、私達を親身に指導して下さいました。私はこのような先生方から教えていただき大変幸せだと思いました。

また、私は日本の伝統的に大変素晴らしい文化に感動しました。滞在中、私は東京や京都、広島を訪問することが出来ました。特に広島では、胸を打たれることがたくさんありました。

このような機会を作って下さった山下先生に心から感謝します。恵子さんと浩子さんは、私の日本での一番の心の友になりました。また、健次先生には、大変厳しく指導していただき、将来の私に大変勉強になりました。日本で出会った全ての友人に心からお礼を申し上げます。

私にとって、日本は特別な国になりました。近い将来必ず戻ってきたいと思います。その日を楽しみにしています。本当にありがとうございました。

シャイ・アルゾアン Mr. Chai Arzoin

Israel



こんにちは！今日は、私の日本での経験を報告したいと思っています。柔道を始めてからずっと柔道の生れた国へ行くことが夢でした。いつも、イスラエルの先生が日本について話してくれるので、日本の文化、伝統に興味を持ちました。

私は、皆さんが想像する以上に多くの事を学びました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに、もう一度日本に来たいと思っています。広島は、とても深く思いに残りました。そして、多くの日本の歴史を学びました。もし日本に、もう一度来ることが出来れば、また、広島へ行きたいと思います。広島での経験を言葉で表すことが出来ませんが、皆さん解っていただけたと思います。

今回、パレスチナからのコーチが来られなくなって大変残念でした。パレスチナのコーチと一緒に、このような経験が出来たら、心の交流が出来たと思います。現在のイスラエルでは、このような交流を持つことは出来ません。今回の研修を通し、柔道で世界の人と交流が出来ることを確認しました。このような機会を与えていただき、心から感謝します。

多くの事を教えて下さった東海大学柔道部の先生方にも感謝いたします。恵子さんと浩子さんには、大変お世話になりました。食事の件では、大変迷惑をかけました。皆さん本当にありがとうございました。日本で学んだ事をイスラエルに帰って皆に伝えたいと思います。また、会いましょう！

第14回講演会

「柔道とけが」

2013年12月6日、東京・千代田区の日比谷コンベンションホールにて第14回講演会を開催しました。「柔道とけが」の講演テーマに、ミッシェル・ブルース氏、マイク・カレン氏が話しました。

The 14th Lecture Meeting was held at the Hibiya Convention Hall, Chiyoda Ward, Tokyo, on December 6, 2013.



フランス柔道における事故の予防法について話すミッシェル・ブルース氏



若年層の脳震盪についての危険性を説明するマイク・カレン氏

2013年12月6日(金)、東京・千代田区の日比谷コンベンションホールにて第14回講演会を開催しました。フランスからフランス・ボルドー大学教授、フランス柔道連盟副会長のミッシェル・ブルース氏、イギリスから Judospace 代表、国際柔道研究者会 (IAJR) 会長のマイク・カレン氏が「柔道とけが」をテーマに話しました。200名を超える聴講者が集まり、今回の講演テーマが多くの柔道関係者の方々に大変関心のあることがうかがえました。今回の講演会の通訳は、関西大学国際部のアレクサンダー・ベネット准教授が引き受けて下さいました。

ミッシェル・ブルース氏は、『危険な指導方法、危険な柔道とは？(原題: Dangerous Judo or Dangerous coaching?)』の演題で話されました。フランス柔道における事故について他のスポーツとの比較や事故の具体的な例を挙げられました。2010年に、武道競技死亡事故をゼロにしたフランス柔道連盟が、どのように質の高い指導方法を提供することが出来るようになったかを説明されました。フランスの少年柔道の指導法は、結果よりも教育を優先すること。子どもたちの社会性や体力の増強などの2つを目的としていると話され、「柔道による教育は、子どもたちに夢を与え、子どもの個性を尊重しながら成長を見守ることが出来る。日本柔道が嘉納師範の教えを現代社会に適応させ、知育・体育・徳育の模範となることを信じています」と締めくくりました。

マイク・カレン氏は、『子どもの柔道の負傷の解決策とコーチ教育(原題: Judo Injuries in Children, a Coach Education Solution?)』の演題で、若年層に起こりやすい頭部外傷についてその原理と注意方法を話されました。脳震盪が及ぼす危険性や事故に対する予防法、指導者への教育としてイギリス柔道連盟が作成しているコーチの倫理と行動規範についてのガイドラインや教育方針について説明されました。イギリス柔道連盟では、子どもたちや身障者を守るために、コーチは資格認定制度があることを具体例を挙げ話されました。

柔道を通じた異文化交流、異文化理解のために

海外柔道普及支援事業

2013年7月23日～28日の期間、ゲンデン・バタエルデネ氏がタイ・バンコクで行われた国際審判員試験講習会に参加し、B級ライセンスを取得しました。



タイ国際柔道選手権大会で実際に審判を行うゲンデン氏



審判試験合格後、アジア柔道連盟審判長の川口先生と

From July 23 to 28, Mr. Genden Baterdene took part in a seminar held in Bangkok to prepare for the International Referee Examination, Thailand, and successfully obtained a class-B license.

ゲンデン・バタエルデネ氏の報告です

2013年7月23日～7月28日に行われたアジア柔道連盟(JUA)の審判試験を受け、タイ、バンコクに行きました。モンゴル国柔道連盟から要請を受け、1ヶ月あまりの中で、多くの方々に協力していただき試験に向けて準備を始めました。私は、2010年に日本国内審判員のCライセンスを獲得しており、学生大会中心に審判員をした経験はあるのですが、この話が合った時に一度断りました。国際審判の資格を取るのには、私には早いと思ったからです。しかし、チャンスは何度も来るものではありませんし、「しっかり準備してやってみろ」というアドバイスをたくさんの人からいただきました。仕事の都合や、経済的に苦しい中でしたが、心を決めました。

7月23日にバンコクへ出発し、翌24日から2日間講習会に参加しました。内容は2013年3月のグランドスラム・パリから始まったIJFの新ルール目的、説明、注意する点についてでした。約30カ国の審判員達が集まっていました。JUA審判長の川口先生(日本)、ムーン先生(韓国)、チョウ先生(香港)による講義及び説明がありました。26日に試験があり、それを通った者のみが27日、28日に開催されたタイの国際柔道大会で実際に審判をしました。その後、合格者のみが発表されました。一番に自分の名前が呼ばれ、隣の仲間が驚くぐらいの大声で返事をしてしまいました。少し恥ずかしかったのですが、ほっとしました。6日間の研修を終え、審判試験に合格する事で自分に少し自信を持つことが出来ました。本番はこれからだと思います。山下先生、光本先生、NPO柔道教育ソリダリティーの皆さま、ご協力、応援して頂いた皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。これからも頑張りますので宜しくお願い申し上げます。

日中友好青島柔道館



第35回山下旗柔道大会に参加した子どもたち



登米市立豊里小学校の5年生と歌やゲームで交流しました

2013年7月4日～9日の期間、中国・青島より日中友好青島柔道館の子どもたち7名、役員4名、計11名が来日しました。7月7日に宮城県登米市で開催された「第35回山下旗柔道大会」に出場し、その後は豊里柔道クラブの皆さんにご協力いただき、ホームステイをするなど交流を深めました。

A total of 11 members (7 children and 4 officials) from the Japan-China Judo Friendship Center in Qingdao, China, came to and stay in Japan from July 4 to 9 2013. They participated in the 35th Yamashita Flag Judo Tournament held on July 7, in Tome City, Miyagi Prefecture. These Chinese members then stayed at homes of Toyosato Judo Club members, who cooperated with us in serving as their host families, deepening exchange with Japanese members.

2013年7月4日～9日、今回の日中友好青島柔道館から、小学生7名、徐館長、王華監督、時峰通訳、宋コーチの計11名が来日しました。7月7日に行われた第35回山下旗柔道大会に参加しました。その後、南三陸町防災対策庁舎を訪ねました。「がれきは無くなってきているものの、実際に訪れると様々な思いを感じる」と徐館長が話され、子どもたちと一緒に、多くの方のご冥福をお祈りしました。また、登米市立豊里小学校の子どもたちと交流会をしました。子どもたちには言葉の壁はなく、とても楽しい時間を過ごすことができました。子どもたちは、豊里柔道クラブの皆さんのお宅に滞在させていただき、流しそうめんや花火など様々なことを体験させていただきました。復興で大変な中、中国からの子どもたちへ、たくさんの愛情をそそいでいただき、心から御礼申し上げます。また、本事業をアレンジして下さい、山下旗柔道大会長の寺澤豊志先生に心から御礼申し上げます。

中国の友達が来た

佐藤 圭人

7月の初めに、ぼくの家から中国から友達が来ました。1人目はジャージュで、2人目はシーハンでした。2人とは、日本のおもちゃで遊びました。最初はなかなか話すことが出来ませんでしたが、楽しかったです。短い期間で、ちょっとしか遊べませんでしたが、今度は、もっと長くいてほしいです。

ぼくも大きくなったら、青島に行って2人と柔道で試合をしたいと思いました。

また会いたい

高橋 雄大

中国の人たちが家に泊まると聞いた時は、気絶しそうなほどびっくりして、そして不安でした。はじめて2人と出会った時、顔は日本人と同じ感じなのに、言葉がちがうし、何を言っているのかわからなくて、さらに不安になりました。でも、一緒に流しそうめんをしたり、おもちゃの刀で遊んだりして楽しかったです。

ピピとポンポンとお別れする時は、やっと仲良くなったのに、もうお別れするのかとさみしくなりました。せつなく友達になれたので、また会いたいです。

青島柔道館の皆さんと交流して

浅野 仁那



第35回山下旗柔道大会に出場するために、中国青島市から小学生チームが来てくれました。その中の2人が、私の家に泊まることになり、私と第2人も、わくわく、ドキドキで迎えました。2人の名前は、10才のユウユウと、コーチのソウ先生です。

大会前日に豊里に来た皆さんと、夕食に流しそうめんをすることになり、ユウユウと私は、浴衣を着て行きました。ユウユウは初めて浴衣を着るので、プレゼントと言ったら、とても喜んでくれました。よく似合っていました。

お互いに相手の言葉がわからないので、翻訳アプリを使ってコミュニケーションをとりました。ユウユウは、父のスマホを手にとり、うまく翻訳できないと何度も何度も話しかけました。また、筆談も少しできました。ソウ先生は、祖父母とお酒を飲みながら、青島の話や、柔道の話をしてくれました。ユウユウと一緒に風呂に入ったり、折り紙やゲームで遊んだりして、妹ができたようで、とてもうれしかったです。

青島の皆さんとは、短い時間の交流でしたが、もっと柔道の練習をしたり、私たちの町を紹介できたら良かったと思います。これからも、国や言葉は違っても、柔道を通してたくさんの人たちと、交流していきたいです。

「ユウユウ、いつか私たちが青島に行くことになったら、よろしくね！」

「ホームステイを受け入れて」

阿部 悠生

日中友好青島柔道館より、山下旗柔道大会に出る為に日本に来てくれました。ぼくは、ホームステイを受け入れる前は、とても不安でした。しっかりと話したり、馴染んだり出来るのか、とても心配でした。

ホームステイした人の名前は、メイソンとクワンクワンといいます。メイソンもクワンクワンも英語が使えたので、言葉は簡単な英語や練習していた中国語、身振り手振りを交えて会話できました。

夜は、トランプや花火をしました。トランプでは神経衰弱をして、盛り上がりました。終わるころには、数字を中国語で言えるようになっていたので、嬉しかったです。花火は線香花火で競いました。とても楽しかったです。



おそろいの青島柔道館のTシャツを着て



皆で楽しんだ流しそうめん

留学生柔道体験



柔道体験教室に参加した留学生と授業を手伝った東海大学柔道部の学生

2013年12月18日に東海大学日本語別科の留学生を対象に、東海大学白瀬英春教授の指導の下、柔道の体験授業を開催しました。

On December 18, 2013, we held a judo class for students of Tokai University Japanese Language Course for International Students, to offer them an opportunity to experience judo, under the guidance of Mr. Hideharu Shirase, Professor of Tokai University

授業は、東海大学柔道部の学生がチームとなり、留学生に柔道を教えました。カザフスタン、サウジアラビア、中国、タイ、ロシア、アメリカ、スペイン、ブルガリアなど8カ国、13名の学生が参加しました。

ストイチェフ・ヤセン・ネデルチェフ(ブルガリア)

柔道を体験しとても嬉しかったです。私は日本に来た時から武道をやりたいのですが、東海大学の部活は普通の学生だけだと考えたので、私達別科生がするのは無理だと思っていました。だから柔道をやる機会を作ってもらい感謝します。柔道体験で色々なことを習いました。最初に習ったのは相手に対する敬意を表す特別な礼でした。次は傷つかないようにする受身です。そして二つ技を習いました。柔道は本当にすごいし、楽しいし、便利です。相手の体重を利用し、勝つことが出来るのはとても良かったです。教えてくれた学生は優しくかったです。全部ゆっくり説明してくれました。柔道を好きになりました。これから柔道をもっと習いたいと思います。

楊 崧弘(香港)

先月、つよしさんと柔道部の皆さんと一緒に初めて柔道をやりました。凄くいい感じでした。どうもありがとうございました。

シーサード・サマーン(タイ)

挨拶や投げ技などを習いました。日本人の学生は優しくかったです。また、柔道をやりたいです。楽しかったです。習いたいと思います。

見学者

スィーニー・メラニー・アン(アメリカ)

その日、私は柔道を見に行きました。本当に面白かった！小さい人が強くなれることに驚きました。私の一番驚いたことは、モハマドさん。モハマドさんは自分より大きい人を投げていました。本当にびっくりした！

柔道の人には本当に強くて大きいけど、モハマドさんのように小さくて細い人にも出来る。それは、すごいと思った。でも、私は本当に弱くて小さいので、多分出来ないけれど、いつか頑張ってみようと思う。

張 港傑(香港)

今回の体験会で初めて柔道を経験しました。自分はテレビでオリンピックの柔道の試合を見たことがあるけど、経験は全くありません。実際にやってみて、少し緊張しましたが楽しかったです。柔道部の学生たちはとても優しく色々な技を教えてくださいました。ありがとうございました。貴重な体験会だったと思います。

パノーフ・アナスタシヤ(ロシア)

柔道の授業に行くまで、興味があまりなかった。けれども、やってみた時、私は興味をそそられました。始める前は、危険なスポーツだと思いましたが、全然危なくありませんでした。本当に楽しかった！柔道が好きになった。将来やってみたいと思う。教えてくれた学生たちは皆優しくかったです！最初に柔道衣の着方について教えてくださいました。一緒に練習をした人は、かっこよかった。彼を倒しても「大丈夫だよ！全然痛くない」と言ってくれた。私は驚いた。その他に、私のチームの学生たちはよく説明してくれ、全部が分かりやすかった。日本の文化について知るととても良い機会でした。もう一度やりたい！本当にありがとうございました！

アシリ・サイード(サウジアラビア)

昨年12月に別科の皆と北村先生と一緒に武道館を見学しました。そこで、道場に行き、先生が説明してくれました。モハンマドさんが、日本人と柔道を練習していましたが、とても面白かったです。私は、元気になったら柔道をやりたいと思います。

ナビア・フェルナンデス・インカ(スペイン)

今日は柔道の練習を見に行きました。道場は広く、柔道の人の名前がたくさんありました。柔道の人々は、皆優しい人でした。道場が床が動き地震のようで、それに一番驚きました。本当に楽しかったです。



青少年を育てるために

「暴力の根絶」プロジェクト

2013年7月16日、東京・港区の品川プリンスホテルにて、「暴力の根絶」プロジェクト、パネルディスカッション—暴力のない柔道を築くために—を開催しました。



パネルディスカッションを行う全柔連「暴力の根絶」プロジェクト外部有識者と山下理事長



会場には、220名以上の方が集まりました

We organized a panel discussion on the theme “Towards Eradicating Violence in the Judo Community” under the Violence Eradication Project, at Shinagawa Prince Hotel on July 16, 2013.

2013年7月16日（火）、東京・港区の品川プリンスホテルにて、「暴力の根絶」プロジェクト—暴力のない柔道を築くために—の演題でパネルディスカッションを開催しました。

パネリストとして、全日本柔道連盟「暴力の根絶」プロジェクト委員（外部有識者）の友添秀則氏（早稲田大学教授）、菊幸一氏（筑波大学大学院人間総合科学研究科教授）、山下理事長（全日本柔道連盟「暴力の根絶」プロジェクトリーダー）、コーディネーターとして宮嶋泰子さん（テレビ朝日編成制作局アナウンス部兼編成部 上級マネージャー）が参加しました。

初めに、「柔道界における暴力の根絶について」の演題で、山下理事長が暴力の根絶に向けて柔道界が取り組んでいる活動を説明し、今後この活動を続けていきたいと話しました。

次に、友添教授が「体育・スポーツ界における暴力行為について」の演題で、スポーツ界における暴力の歴史的背景と現状を話され、暴力の根絶に必要な指導者の能力を具体的に述べられました。

その後、菊教授が「スポーツにおける暴力発生のメカニズムと根絶の取り組みについて」の演題で、現場で実際に起きる可能性のある暴力発生のメカニズムを説明されました。そして、「嘉納師範が提唱した『自他共栄』、『精力善用』は、力を使って相手をねじ伏せたり、威圧したりすることなく、世の中の役に立つことのために能力を最も効果的に使うことである。心身のエネルギーを最も効果的に、社会善（非暴力）のために用いる。この考えは、まさに現代の柔道・スポーツ指導者に求められる言葉でしょう。いまこそ柔道指導者は、『精力善用』を実践していく必要があるのではないかと思います」と話されました。

後半は、パネルディスカッションを開催し、各先生の専門分野より意見をお聞きました。

第5回中郡柔道研修大会

2013年12月8日、神奈川県大磯町立国府小学校にて「第5回中郡柔道研修大会」が開催されました。本法人研修生のチグル氏及びアルゾアン氏がこの大会を視察しました。

On December 8, 2013, the 5th Judo Training Session was held at Oiso Town Kokufu Elementary School, Kanagawa.



37団体、179名の子どもたちが参加しました



日本の柔道環境の視察として、本法人研修生を受け入れていただきました

中郡柔道研修大会実行委員長の濱名三代子さんの報告です

平成25年12月8日（日）、大磯町立国府小学校体育館にて、「第5回中郡柔道研修大会」を開催いたしました。大会名に「研修」と名付けたとおり、この大会では参加する選手、保護者、指導者、さらには地域の方達等、大会に関わる多くの人が、柔道を通してより良い人生を歩むためのヒントが詰まった大会作りを目指しています。

今回は、「NPO法人柔道教育ソリダリティー」に協賛いただいたことにより、大会の趣旨が権威づけられ、開会式では大磯町長、神奈川県柔道連盟会長が「中郡から全国に拡がる大会」として、大いに期待しているとのご挨拶がありました。

この大会は午前中に「研修の部」として、講演、形の世界チャンピオンによる形演武、子どもたちによる受身デモンストレーション等を行います。今回はユース・フォー・ヒューマンライツ・ジャパンの小倉謙氏に「本気で生きる」をテーマにお話しいただきました。

午後の「試合の部」では、4～5人のリーグ戦を行い、出場者に多くの試合経験を与えるようにしてあります。この中には、ダウン症児によるリーグ戦もあり、彼らも普段の稽古の成果を存分に発揮しています。今年は179名の選手が参加をし、37のリーグで互いの技を試み合いました。

大会の特色は運営方法にもあります。会場設営に中郡に在籍する道場の有志が集まり、体育館を掃除するところから始め、近くの二宮高校から運び込まれた畳を敷き詰めています。参加者からは、参加費を取らず、運営にかかる費用はすべて地域の企業等からの協賛金で賄っています。

年々、大会の規模が大きくなっておりませんが、今後も柔道の持つ様々な可能性を探りつつ、青少年の健全育成と社会貢献を目標にした大会運営を目指していきたいと思っています。

望星学塾「国際親善週間」

2013年7月22日～8月6日の期間、東京都武蔵野市望星学塾にて「国際親善週間」が行われました。本法人は、積極的な国際交流を实践するため望星学塾の国際親善週間に支援しています。

From July 22 to August 6, 2013, the International Friendship Week was held at Bosei Gakujuku in Musashino City, Tokyo. Our NPO supports the International Friendship Week at Bosei Gakujuku, as part of its effort to actively practice international exchange.

今回はハワイから13名、イギリスから1名、計14名が参加しました。参加者は柔道の稽古だけではなく、東海大学付属翔洋高等学校での夏期学校に参加、全日本少年少女武道(柔道)練成大会の視察を行いました。また、東京、鎌倉、箱根にて日本の歴史・文化に関する研修も行いました。また、仙石通泰理事の会社のご招待により、横浜みなとみらいで行われた花火大会に参加させていただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



東京都・武蔵野市の松前柔道塾の塾内大会に参加



東京の研修で訪れた国会議事堂で



静岡県・静岡市の東海大学付属翔洋高等学校で合同練習

日本研修を振り返って

ハワイ・保道館柔道クラブ ジェンナ・エノカ

この日本研修は今までで最高の旅であり、新しいことを沢山学びました。観光が楽しかったのは勿論ですが、練習で新しい技を沢山学びました。ハワイに帰ったら、自分たちの練習に組み込んでいきたいです。

日本の女子の練習や試合はハワイと大きく違い、とても驚きました。松前柔道塾では、最初、小さな子どもたちの練習に入って体をほぐしました。次の小学生クラスの中には私たちが本気にならないといけなような生徒もいて、中・高校生クラスになると私たちは完全に投げ飛ばされました。こんな練習は経験したことのないものでした。彼女たちはとてもエネルギーで、練習が終わった後も腕立て伏せをするなど自主的な練習をしていました。翔洋高校での合宿はとても厳しく、観光など行く時間はありませんでした。そこで松前柔道塾以外の生徒と練習したり、試合が出来るととても楽しかったです。私より大きな相手ばかりで勝てませんでしたが、彼女たちとまた練習したいです。

日本研修を振り返って

ハワイ・保道館柔道クラブ トロイ・エノカ

この日本研修は最高の経験になりました。柔道の技術は勿論、日本人や日本文化についても多くの事を学びました。多くの友人を作り、史跡にも足を運び、美味しい料理を沢山食べました。

松前柔道塾での練習はとても厳しいと聞いていましたが、今まで経験したことのないもので、体力的にとってもきつかったです。ハワイとの一番の違いは、生徒達が高い目的意識を持っているため、先生が背中を押さなくて良いことです。子どもたちは先生に言われなくても、自分たちで厳しい練習をしていました。日本の練習は自由度が高く、生産的で、自分の技術を伸ばすことが出来ました。

橋本先生の講義では、柔道が時代と共に変化していることや、武術としての柔道と競技スポーツとしての柔道の違いなどを学ぶ事が出来ました。今のルールは、見る人のためにつくられているそうです。組み手に関するものは試合をアクティブなものにするために、きれいに投げられたら一本負けで試合が終わってしまうのもそのためです。私たちは勝者と敗者をそのように選別しています。しかし本来の柔道はそういうものではない、もっと大きなもの、哲学が背後にあることを学びました。

今回の研修中、私は松前先生の掲げた「柔道・友情・平和」の理想に従うことが出来たと思います。たくさん練習して、新しい友達をつくりました。これからも、柔道を通じて国際平和の構築に貢献していきたいです。

Rusty Kanokogi Memorial 第33回塾友杯柔道少年大会

2013年12月1日、東京都武蔵野市の東海大学望星学塾にてRusty Kanokogi Memorial第33回塾友杯少年柔道大会が開催されました。



塾友杯を視察した第14回講演会講師のブルース氏、カレン氏と研修生

On December 1, 2013, the 33th Jukuyuhai Junior Judo Championships was held as a Rusty Kanokogi Memorial event, at Bosei Gakujuku in Musashino City, Tokyo.

2013年12月1日(日)、東京都武蔵野市の東海大学望星学塾にてRusty Kanokogi Memorial第33回塾友杯少年柔道大会が開催されました。

小学1年生から中学3年生まで306名、26団体が参加しました。本法人の研修生、チグル氏、アルゾアン氏がこの大会を視察しました。また、第14回講演会講師、ブルース氏、カレン氏もこの大会に来賓として参加して下さいました。ブルース氏が来賓挨拶を行い「フランスでは多くの子どもたちが柔道を一生懸命勉強しています。是非、フランスにも来て下さい。一緒に柔道をやりましょう!」と、話されました。

第35回山下旗柔道大会

2013年7月7日、宮城県登米市総合体育館で第35回山下旗柔道大会が行われました。小学生48チーム、中学生男子44チーム、中学生女子24チーム、計116チーム、641名が東北6県から参加しました。主催者によれば、震災後に大会の運営が難しくなり山下旗柔道大会は、第35回大会で一つの区切りとするそうです。



大会前に行われた柔道教室で講師を務めた
瀧本誠氏



創設当時は小さな大会であったが、東北地方
から約120チームが参加する大会となった

On July 7, 2013, the 35th Yamashita Flag Judo Tournament was held at the Tome City Gymnasium, Miyagi Prefecture. This round was the final one in the Yamashita Flag Judo Tournament.

山下旗柔道大会長 寺澤豊志氏からの報告です

「豊里町体育センター(武道館)」が完成した昭和54年に落成記念として「仙北少年柔道大会」が行われた。昭和49年に「宮城・豊里柔道スポーツ少年団」を結成していた私は、大会に向け、世界チャンピオンの山下泰裕氏の招へいを思いついた。そして、当時東海大学柔道部監督であった佐藤宣踐先生の多大な協力を得て実現することができた。

その2年後、この豊里で「山下」の名前を使い、地方の子どもたちに夢を与えたい。「山下旗少年柔道大会」と名称を新たに大会をスタートした。

山下旗大会趣旨は、「児童生徒の心身の鍛錬、参加者相互の親睦・友情を図り、少年少女の健全育成、柔道を通じた国際親善」を目的としている。「教育柔道」を基本に、積極的に外国のチーム・選手に参加を募ることで、地方の小さな町であるが沢山の国際交流も行うことが出来た。

大会開催にあたり、大会運営予算捻出で大変な時には、登米市・登米市教育委員会・登米市体育協会のトップが理解を示し主催に入って下さり、NPO法人柔道ソリダリティー(山下泰裕理事長)には物心両面の協賛をしていただいた。また、長年大会を支えて下さった「豊里赤シャツ軍団」の父母、協賛・広告協力を頂いた団体・会社の方々、ゲスト講師の方々、講師派遣のご協力いただいた東海大学柔道部教員の皆さまに感謝を申し上げたい。

今回で最後の大会になりますが、振り返ると本当にたくさんの方々に支えられた大会であったと思う。心より感謝申し上げます。

インターンシップ生の受入

9月4日～20日の期間、びわこ成蹊スポーツ大学よりインターンシップ生として中村かおりさんを受け入れました。本法人が受け入れるインターンシップの学生は中村さんで2人目です。

From September 4 to 20, 2013, we accepted Ms. Kaori Nakamura from Biwako Seikei Sport College as an intern. She was the second intern who was accepted by the Solidarity of International Judo Education.



書類の発送作業を行う中村さん

インターンシップ生 中村かおりさんの報告です

私は3歳から柔道漬けの毎日をごとて来たため、アルバイトなどをした経験がなく、社会という場所がどのようなところなのか、そして仕事をするという感覚が全く分からないまま不安だけを抱え滋賀県から神奈川県へ参りました。右も左も分からぬ土地で、家族が近くにいるわけでもない。それに加え仕事ができると出来るのかどうか、迷惑をかけてしまうのではないかと私の不安を掻き消してくださったのは、NPO法人柔道ソリダリティーに勤務するお二方の優しさ、穏やかさでした。

実習をする中で私は、たくさんの思いをしました。まず一つ目にそれは「恥ずかしい思い」です。学生生活を送る中で新聞に目を通すこともなければ、触れることも無かった私は、今現在、日本社会で何が起きているのか、世界では何が起きているのかという内容を全く知りませんでした。新聞やニュースに関心を持たないということは、世間に興味が無いということ。私がこれから生きていく未来に興味を持たないということなのだ、その時初めて実感しました。

実習を行う中で、私自身の無知さに自分でも驚くことになりました。普段スマートフォンやパソコンを軽く使いこなせるだけで、何でも出来ると思っていた私が、FAXの使い方も知らなかったという事です。インターネットが普及し、色々なアプリがある今、メールも使う頻度が減り、FAXを今時使うのか？と世の中を甘く見ていた自分自身に反省しました。一方で「嬉しい・幸せな思い」も知りました。小さなことかもしれませんが、朝に「おはよう！」だけでなく「今日も元気？」と言付け加えられるだけで、とても元気が出ることなど、私は今まで知らずにいました。嬉しい時に大声で笑うという自分自身の感情を素直に表現することが、こんなにも簡単だったことに私は気付かずにいました。実習を重ね、東海大学のたくさんの方々と会話する中で、徐々に私の耳は周りの声や音を素直に聞き取れるようになったのです。

この実習を振り返り、仕事の大変さや任される責任の重さなどを知りました。私の一番の収穫、宝物となったのは、人との繋がり、人の温かさ、感謝の心でした。NPO柔道ソリダリティーのお二方、そしてお世話になった東海大学の皆さま、本当にありがとうございました。

今後の予定 2014年1月～

外国への指導者派遣事業

2014年1月30日～2月7日の期間、イスラエル・パレスチナへ東海大学光本健次教授を派遣しました。

From Tokai University, Prof. Kenji Mitsumoto was dispatched to Israel and Palestine, between January 30 and February 7, 2014.

学生ボランティア派遣

2014年3月2日～3月9日の期間、学生ボランティア2名を中国・南京に、夏期にラオスに派遣します。

We will send two students volunteers to Nanjing, China, from March 2 to 9, 2014, and to Laos in summer.

外国からの選手受入事業

2014年夏期、フィジーより男子選手1名、キルギスより女子選手6名を受入れます。

We will accept one male athlete from Fiji, and six female athletes from Kirghizia in the summer of 2014.

国際中・高生柔道大会

2014年2月7日～14日の期間、モンゴル高校生チームを招へい、復興支援全国高校選抜柔道練成三春大会へ出場しました。

From February 7 to 14, 2014, we invited a team of high school students from Mongolia. They participated in the National High School Judo Training Competition at Miharu for Disaster Reconstruction Assistance.

日露武道交流年記念事業

2014年5月16日、日露武道交流年記念事業の一環としてロシア・サクトペテルブルグ市で「山下泰裕柔道教室」を開催します。

As part of programs to commemorate the Japan-Russia Martial Arts Exchange Year, we will hold the Yasuhiro Yamashita Judo Class in St. Petersburg City, Russia on May 16, 2014.

リサイクル柔道衣・畳支援事業

ペルー、パラグアイ、コートジボアールへリサイクル柔道衣を送付する予定です。また、要請に応じ、他地域にも送付します。

We are planning to send recycled judogis to Peru, Paraguay and Côte d'Ivoire. In addition, we will send recycled judogis to other regions, in response to requests.

大会成績



China



2013年夏に日本で強化練習を行った南京柔道チームが、同年9月1日～4日の期間、中国・瀋陽で開催された第12回中華人民共和国全国運動会に江蘇省の代表選手として出場し、金1個、銀2個、銅2個を獲得しました。



Myanmar



2013年3月に日本で強化練習を行った男子ミャンマーチームが、同年12月18日～22日の期間、ミャンマー・ネピドーで開催された第27回東南アジア競技大会(SEA Games)柔道競技に出場し、金4個、銀4個、銅3個と今までで一番の結果を残しました。



Mongolia



2013年3月に日本で強化を行ったモンゴルのヘルレン選手が、グランプリ・チンタオで2位、グランプリ・ウズベキスタンで3位、グランドスラム・パリで5位の成績を残しました。オドバヤル選手もグランドスラム・パリに出場し1回戦を突破しました。



South Africa



2007年～2008年に日本で強化を行った南アフリカのニコラス・ロウ選手が2013年7月7日～11日にロシア・カザンで行われました第27回ユニバーシアード競技大会に南アフリカの代表選手として個人戦・団体戦に出場しました。

リサイクル柔道衣・畳を募集しています！

洗濯した柔道衣を上下(帯)をセットにして、下記住所にヤマト運輸又は佐川急便でお送り下さい。また、畳をご寄付頂ける団体等がございましたら、NPO法人柔道教育ソリダリティー事務局(担当:小澤)までご連絡ください。

〒259-1292 平塚市北金目4-1-1 東海大学柔道研究室内
NPO法人柔道教育ソリダリティー事務局 宛

最新活動は、ホームページをご覧ください！

本法人ホームページでは、随時活動の報告を行っています。また、柔道教育ソリダリティーのバックナンバー講演録・会報誌を無料でダウンロードすることができます。印刷物でご要望の方は、事務局0463-58-1211(内線3524)までご連絡下さい。

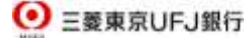
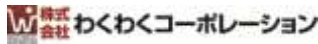
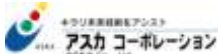
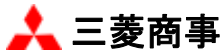
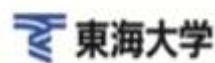
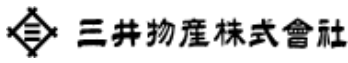
柔道 友情 平和

検索

<http://npo-jks.jp>

2013年度 寄付・団体会員一覧

— Supporters —



三井物産(株)、公益財団法人 竜の子財団、(学)東海大学、ミズノ(株)、三菱商事(株)、日本たばこ産業(株)、東建コーポレーション(株)、羽田タートルサービス(株)、アスカコーポレーション(株)、(株)わくわくコーポレーション、(株)小松製作所、大成建設(株)、(株)神田製作所、早川繊維工業(株)、(株)東芝、三井住友海上火災保険(株)、(株)セレモアつくば、秀和ビルメンテナンス(株)、サポートセンター(株)、(株)三菱東京UFJ銀行、(株)ランクアップ平野屋

(株)アサヒ、(株)アシックス、(株)アットライズ、新井運送(株)、WITH(株)、植木会計事務所、(株)S・Yワークス、(株)オネスト、(株)オピカ、(学)加計学園、(株)霞ヶ関東海倶楽部、角屋工業(株)、神奈川柔道連盟、川中不動産(株)、(株)神田製作所 八親会、(学)国際学園 九州医療スポーツ専門学校、共和電子(株)、(株)黒沢総研、京王電鉄(株)、(株)廣洋、相模トラリアム(株)、(株)三技協、JUDOSPACE LTD、(株)鈴廣蒲鉾本店、総合警備保障(株)、(株)ダイナミクスパースンズ東京、(株)ダイワコーポレーション、(株)築地すし好、(株)テック、(株)東海教育研究所、東海教育産業(株)、東海大学女子柔道部、東海大学付属相模高等学校、(株)東海ビルメンテナンス、(公)東京都柔道連盟、(株)東芝 社会インフラシステム社、(医)徳真会グループ、土志田建設(株)、農業生産法人(有)十津川農場、(株)豊蔵コーポレーション、日本BS放送(株)、(医)白磁会中ノ島センタービル歯科、(株)博報堂DYメディアパートナーズ、浜友観光(株)、(株)ファンタジーエーション、(株)富士サービス、(株)藤野製作所、(株)マツヒロ、丸竹コーポレーション(株)、三菱重工(株)、(有)みのさんファーム、武蔵野市柔道連盟、明光産業(株)、(医)社団 明正会、(株)メディカル ラボ、柳田国際法律事務所、(株)山口工務店、(株)ユーミーネット、横浜市柔道協会、(学)了徳寺学園、(学)了徳寺大学、(株)レイクウッドコーポレーション

(50音順)

個人会員に関しては、ホームページ中の協力者の紹介をご参照下さい。

<http://npj-jks.jp>

	個人	団体
正会員	281	51
寄付	36	28
アドバイザー	37	

リサイクル量：桜美林大学(198枚)、高山道場(78枚)

入会のご案内

柔道教育ソリダリティーは、2014年1月27日より神奈川県庁から継続認定を受けました。本法人へのご寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。本法人の活動は、皆さまからのご寄付、ご支援によって運営されています。本法人の趣旨にご賛同の上、ご協力いただけましたら幸いです。

会員(個人)一口 5,000円

(団体)一口 50,000円 ※一口以上から受け付けます

寄付 特に定額はありません

■ 郵便振替 口座記号番号:00200-7-37175 加入者名:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

■ 銀行振込 三菱東京UFJ銀行 平塚駅前支店 普通口座1573953

口座名称:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕

トクヒ)ジュウドウキョウイクソリダリティー リジ ヤマシタヤスヒロ

横浜銀行 東海大学駅前支店 普通口座1768726

口座名称:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕

トクヒ)ジュウドウキョウイクソリダリティー リジ ヤマシタヤスヒロ